

第3次

伊万里・有田地区定住自立圏共生ビジョン

令和2年3月

佐賀県伊万里市

目 次

I	定住自立圏及び市町村の名称	
1.	定住自立圏の名称	1
2.	定住自立圏を形成する市町村の名称	1
II	圏域の概況	
1.	伊万里市の概況	1
2.	有田町の概況	1
III	これまでの取り組み	
1.	生活機能の強化に係る政策分野	2
2.	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	11
3.	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	14
IV	圏域の課題	
1.	健康福祉における課題	16
2.	教育文化における課題	16
3.	産業振興における課題	17
4.	都市基盤や生活環境における課題	17
5.	人材確保における課題	17
V	本圏域が目指すもの	
1.	生活機能の強化に係る政策分野	18
2.	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	18
3.	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	18
VI	定住自立圏共生ビジョンの期間	19
VII	具体的な取り組み	
1.	生活機能の強化に係る政策分野	19
2.	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	37
3.	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	42

I 定住自立圏及び市町村の名称

1. 定住自立圏の名称

伊万里・有田地区定住自立圏

2. 定住自立圏を形成する市町村の名称

伊万里市、有田町

II 圏域の概況

1. 伊万里市の概況

伊万里市は、佐賀県の西北部にあって、東松浦半島と北松浦半島の結合部に位置し、伊万里湾が深く入り込んでいます。古くから大陸との交易で発展し、江戸時代には、肥前陶磁器の積出港として栄え、「イマリ」の名を世界に広めました。

今日では、重要港湾「伊万里港」としてアジア諸国に向けた国際物流拠点をめざし、港湾整備やポートセールスに取り組んでいます。また、鍋島藩窯300有余年の歴史と伝統を誇る伊万里焼をはじめ、伊万里梨・伊万里牛などの特産品の生産や、IC関連産業や造船・自動車部品、合板等の産業など、伝統産業と先端技術が融合した特色ある都市づくりを行っています。

平成31年に策定した第6次伊万里市総合計画においては、将来都市像を「人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里」と定めており、その実現に向け、各種施策を展開しています。

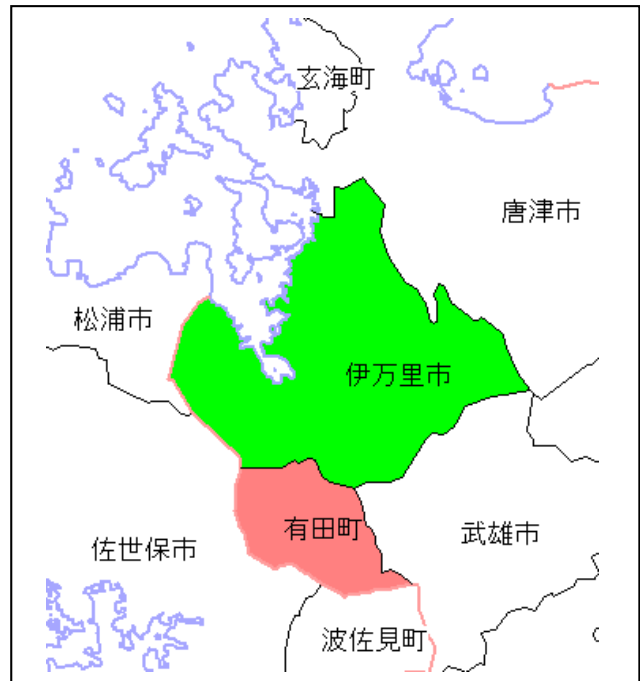
2. 有田町の概況

有田町は佐賀県の西部に位置し、美しい景観を誇る田園地帯や黒髪連山など変化に富む豊かな自然に恵まれた温暖な気候の地域で、有田川が南北に流れて伊万里湾に注ぎ、その東西には国見連山と黒髪連山が連なっています。

有田町の基幹産業は窯業と農業であり、窯業は17世紀初めに日本で初めての磁器焼成以来、わが国を代表する産地として400有余年の歴史を誇る伝統産業となっています。農業は稲・畑作に取り組み、近年は棚田耕作や畜産などのブランド化にも取り組んでいます。この窯業と農業の産業基盤に豊かな自然と歴史資源を乗じて、有田の観光資源として活性化させる地域づくりを展開しています。

さらに、工業団地の造成と企業誘致にも力をいれるなど、産業構造の転換による地域経済の活性化に努めています。

平成30年に策定した第2次有田町総合計画では、その将来像を「ひとつながりひとつがどう 世界に誇れるまち 有田」と定めています。



Ⅲ これまでの取り組み

本圏域では、平成27年4月に策定した第2次伊万里・有田地区定住自立圏共生ビジョンに基づき33事業に取り組み、中でも伊万里有田共立病院の開院による地域医療の充実は大きな成果であると言えます。

平成28年度に設定した重要業績評価指標（KPI）を基に、当該事業の目的を達成したものをA、一部達成したものをB、達成できなかったものをCの3段階で評価した結果は次のとおりです。

達成度	事業数	割合
A	22	66.7
B	11	33.3
C	0	0

1. 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア 地域医療の充実

事業名	1. 伊万里有田共立病院運営支援事業	達成度	A
取り組みの内容	伊万里・有田地区医療福祉組合による伊万里有田共立病院の運営を支援する。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里・有田地区医療福祉組合および有田町と連携し、医師や医療従事者の確保などに取り組みながら地域医療の充実を図っている。 平成28年11月9日に佐賀県知事から「地域医療支援病院」の承認を受けた。 		
今後の方向性	伊万里市と有田町が共同運営する中核的病院として、西部保健医療圏における医療機能の充実と、他の医療機関との連携を図り、地域住民が安心して生活できる医療環境の確立を目指していく。		

事業名	2. 休日・夜間急患医療センター管理運営事業	達成度	B
取り組みの内容	日曜日や祝日、夜間の初期救急医療体制を確保し、適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。		
実績	伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営し、西部保健医療圏における初期救急医療体制を確保した。		

今後の方向性	伊万里休日・夜間急患医療センターを運営するとともに、圏域内の医療機関等と連携を図り、日曜や祝日、夜間の初期救急医療体制を確保する。
--------	---

事業名	3. 在宅当番医制運営事業	達成度	B
取り組みの内容	休日（年間12日間）における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医による診療を行う。		
実績	・在宅当番医制を運営し、休日における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、適切な医療サービスの提供に努めた。		
今後の方向性	圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医制を運営する。		

事業名	4. 病院群輪番制病院支援事業	達成度	A
取り組みの内容	休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスを受けられるよう、伊万里・有田地区医師会が行う輪番制による診療を支援する。		
実績	休日における入院治療を必要とする重症患者の医療体制を確保するため、圏域内の9つの医療機関に対して運営の補助を行った。		
今後の方向性	伊万里・有田地区医師会が行う病院群輪番制の運営を支援するため、必要な経費を負担し、休日における二次救急を確保する。		

事業名	5. 伊万里看護学校支援事業	達成度	A
取り組みの内容	圏域における看護師等医療従事者を確保するため、卒業生の多くが圏域内医療機関に就業している伊万里・有田地区医師会立伊万里看護学校の運営を支援する。		
実績	地域の保健、医療、福祉の担い手を養成する伊万里看護学校に補助金を交付し、同校の運営を支援した。		
今後の方向性	圏域内の医療体制確立の一環として、伊万里・有田地区医師会立伊万里看護学校の運営を支援することで、地域医療の充実を図る。		

(2) 福祉

ア 介護分野における連携

事業名	6. 介護認定審査会事業	達成度	A
取り組みの内容	介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、要介護等の認定に係る認定審査業務を共同で行う。		
実績	認定審査会を適切に運営することができた。 【平成30年度実績】 介護認定審査会委員定数 30人 審査会開催 48日、延144合議体 審査判定 伊万里市2,420件、有田町782件		
今後の方向性	圏域内の介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、介護保険法に定める要介護等の認定に係る認定審査業務を共同で行う。		

イ 障害者の自立における連携

事業名	7. 障害支援区分認定事業	達成度	B
取り組みの内容	障害者とその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害支援区分の認定に係る認定審査業務を共同で行う。		
実績	伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会において、障害者総合支援法に定める障害支援区分の認定に係る審査判定業務を行ってきた。		
今後の方向性	伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会において、障害者総合支援法に定める障害支援区分の認定に係る審査判定業務を行う。		

ウ 特別支援学校の留守家庭児童クラブにおける連携

事業名	8. 佐賀県立伊万里特別支援学校における留守家庭児童クラブ運営事業	達成度	B
取り組みの内容	昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援するため、伊万里特別支援学校において、留守家庭児童クラブを設置、運営する。		
実績	伊万里特別支援学校の支援を受け、長期休業期間中における空き教室の確保や開所時間の延長など、受け入れ態勢の充実を図った。		

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録数や要望を把握し、より充実した運営を図る。 ・運営に関しては、引き続き、障害者支援のノウハウを持つはってんクラブ運営協議会に委託する。
--------	---

エ 児童の療育支援

事業名	9. 障害児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業	達成度	B
取り組みの内容	障害児がその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園を設置、運営し、日常生活等に適応するための訓練や指導を行う。		
実績	障害のある児童や発達に遅れのある児童とその保護者に、日常生活等に適応するための訓練や指導を行うことにより、児童の福祉の向上を図っている。		
今後の方向性	障害のある児童や発達に遅れのある児童とその保護者に、日常生活等に適応するための訓練や指導を行うため、伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園を設置、設置する。		

オ 障害者の生活支援

事業名	10. 障害者生活支援センター運営事業	達成度	A
取り組みの内容	障害者がその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害者生活支援センターを設置、運営し、必要なサービスについての情報提供や相談対応、支援を行う。		
実績	自立支援協議会や障害福祉サービス事業所等と連携しながら、伊万里・有田地域における総合的な相談支援の窓口としてコーディネートしている。		
今後の方向性	障害者が地域で安心して生活する上で必要となるサービスについての情報提供や相談支援等を行うため、伊万里・有田障害者生活支援センターを設置、運営する。		

(3) 教育・文化

ア 図書館の圏域内への開放

事業名	11. 図書館運営事業	達成度	B
取り組みの内容	主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味・関心に応じた学習環境を整備するため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館の充実を図るとともに、圏域住民に開放する。		

実績	伊万里市民図書館において資料の充実を図り、それを利用できるように有田町民へ開放した。 <ul style="list-style-type: none"> 有田町民が伊万里市民図書館で借りた冊数 H29：19,908点、H30：17,919点 相互貸借で有田町図書館に貸出した冊数 H29：16冊、H30：19冊
今後の方向性	圏域住民への読書意識を高め合い、相互に本を行き来できる仕組みを作ることで、貸出や返却のさらなる利便性の向上と、新しい形での連携を検討する。

(4) 産業振興

ア 農林水産業における圏域ブランドの確立

事業名	12. 伊万里牛振興会支援事業	達成度	A
取り組みの内容	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興を促進するため、伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動などを実施する。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里産佐賀牛枝肉共励会（二日市市場：第9回～第13回、福岡食肉市場：第2回～第6回）を実施し、地元購買者との意見交換を行い、福岡都市圏での有利購買への取組を行った。 販売促進活動においては、福岡都市圏において、岩田屋本店の丸十食品及び、博多阪急の肉の匠いとうにおいて、伊万里牛フェアの開催に合わせ、粗品の提供、ゆるキャラを使ったPRを行うとともに、平成28年度から3カ年間、福岡市内で開催されたRKBラジオまつりに出展し、伊万里牛の焼肉を販売することで、伊万里牛の認知度向上を図った。 生産振興については、肉用牛繁殖基盤強化を図る為、繁殖雌牛の導入・自己保留に対する支援を行った。 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 生産者の飼養技術の向上及び福岡都市圏での有利購買の取組として、伊万里産佐賀牛枝肉共励会を2市場で開催する。 福岡都市圏等において、伊万里牛の認知度向上のため、伊万里牛フェアへ共催する等の販売促進活動を実施する。 		

事業名	13. 伊万里牛PR事業	達成度	B
取り組みの内容	伊万里牛のブランド力を最大限に活用し、牛肉の販路拡大を図るため、伊万里牛を活用したイベント等を行う。		
実績	大都市圏のハイクラスのホテルにおいて、伊万里牛を始めとする食材を伊万里焼のお皿で提供する「伊万里フェア」を実施し、知名度及びブランド価値の向上に努めた。		

	H27 3回 H28 4回 H29 5回 H30 3回 H31 4回
今後の方向性	引き続き、伊万里フェアの実施により圏域内特産品の知名度とブランド価値の向上に努めていく。

イ 農業の振興

事業名	14. 古木場ダム管理事業	達成度	A
取り組みの内容	安定的に農業用水を確保するため、古木場ダムの適切な維持管理を行う。		
実績	古木場ダムの長寿命化を図るため、平成 29 年度に作成した農業水路等長寿命化・防災減災事業実施計画書に基づき、平成 30 年度に電気設備の補修を行った。		
今後の方向性	安定的に農業用水を確保するため、古木場ダムの適切な維持管理を行う。 また、農業水路等長寿命化・防災減災事業実施計画により引き続き堤体及びパイプラインの補修を行っていく。		

ウ 林業の振興

事業名	15. 伊万里西松浦森林組合支援事業	達成度	A																														
取り組みの内容	安定的な林業経営を確立し、圏域の豊かな自然環境を保全するため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援する。																																
実績	<table border="0"> <tr> <td>H 2 7 年度</td> <td>間伐面積</td> <td>A = 3 0 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>作業路開設</td> <td>L = 3, 3 1 4 m</td> </tr> <tr> <td>H 2 8 年度</td> <td>間伐面積</td> <td>A = 2 6 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>作業路開設</td> <td>L = 3, 2 0 8 m</td> </tr> <tr> <td>H 2 9 年度</td> <td>間伐面積</td> <td>A = 3 4 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>作業路開設</td> <td>L = 5, 5 1 3 m</td> </tr> <tr> <td>H 3 0 年度</td> <td>間伐面積</td> <td>A = 3 3 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>作業路開設</td> <td>L = 3, 5 7 4 m</td> </tr> <tr> <td>H 3 1 年度</td> <td>間伐面積</td> <td>A = 2 5 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(計画) 作業路開設</td> <td>L = 4, 5 0 0 m</td> </tr> </table>			H 2 7 年度	間伐面積	A = 3 0 h a		作業路開設	L = 3, 3 1 4 m	H 2 8 年度	間伐面積	A = 2 6 h a		作業路開設	L = 3, 2 0 8 m	H 2 9 年度	間伐面積	A = 3 4 h a		作業路開設	L = 5, 5 1 3 m	H 3 0 年度	間伐面積	A = 3 3 h a		作業路開設	L = 3, 5 7 4 m	H 3 1 年度	間伐面積	A = 2 5 h a		(計画) 作業路開設	L = 4, 5 0 0 m
H 2 7 年度	間伐面積	A = 3 0 h a																															
	作業路開設	L = 3, 3 1 4 m																															
H 2 8 年度	間伐面積	A = 2 6 h a																															
	作業路開設	L = 3, 2 0 8 m																															
H 2 9 年度	間伐面積	A = 3 4 h a																															
	作業路開設	L = 5, 5 1 3 m																															
H 3 0 年度	間伐面積	A = 3 3 h a																															
	作業路開設	L = 3, 5 7 4 m																															
H 3 1 年度	間伐面積	A = 2 5 h a																															
	(計画) 作業路開設	L = 4, 5 0 0 m																															
今後の方向性	林内路網の整備、高性能林業機械等の導入により作業効率化を図り、安定的な林業経営を確立し、圏域の豊かな自然環境を保全するため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援する。																																

エ 畜産の振興

事業名	16. 畜産振興事業	達成度	A
取り組みの内容	<p>安定的な畜産経営を行うため、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援し、家畜の防疫環境の確保に努める。</p>		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・成績優秀な畜産農家へ市長賞を贈呈し、生産意欲の向上に寄与している。 ・経営の厳しい畜産農家に対し、伊万里市農業協同組合と畜産協会が実施している経営診断に係る負担金に対し、一部助成を行い経営改善に寄与している。 ・伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会の運営経費の一部を負担し、家畜伝染病の予防と衛生知識の啓発普及を図り、健全な畜産経営に寄与した。 ・広域家畜診療所の運営経費の一部を負担し、多様化する家畜の疾病を防止し、経営改善を図った。 ・市長賞の表彰回数 H 2 7 年度 4 回 H 2 8 年度 4 回 H 2 9 年度 6 回 H 3 0 年度 6 回 H 3 1 年度 6 回 		
今後の方向性	<p>安定的な畜産経営を行うため、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動等を支援し、家畜の防疫環境の確保に努める。</p>		

オ 窯業の振興

事業名	17. 伊万里・有田焼振興事業	達成度	A
取り組みの内容	<p>地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発を支援するとともに、焼き物の販路拡大に向けた情報提供等を行う。</p>		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県陶磁器工業組合や伊万里・有田焼伝統工芸士会への補助金を交付した。 ・佐賀県陶芸協会へ補助金を支出した。 ・伊万里鍋島焼協同組合の活動に対し補助金を交付した、 ①鍋島藩技術保存事業(H27～H30) ②鍋島献上の歩み展(H28) ③テーブルウェアフェスティバル(H28) 		

今後の方向性	地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発を支援するとともに、焼き物の販路拡大に向けた状況提供等を行う。
--------	--

事業名	18. 伝統産業会館運営事業	達成度	B
取り組みの内容	伊万里・有田地区伝統産業会館を設置、運営し、伊万里・有田焼の伝統的な技法の継承及び後継者の確保や育成を図る。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の修繕を行い適正に維持した。 ・利用者へのサービス向上を図るため、会館の管理運営を専門的な知識を有する指定管理者へ委託した。 ・盗難等の対策として、防犯カメラを設置した。 ・絵付け体験事業を行った（指定管理者による自主事業）。 ・後継者育成事業（伊万里・有田焼伝統工芸士会）により、伝統的な技術の継承を図った。 		
今後の方向性	<p>伊万里・有田地区伝統産業会館を設置、運営し、伊万里・有田焼の伝統的な技法の継承及び後継者の確保や育成を図る。</p> <p><会館の修繕に関すること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 <p><会館の管理運営委託></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊万里・有田焼伝統産業会館指定管理料 		

事業名	19. 有田焼創業400年事業	達成度	A
取り組みの内容	有田町は、平成28年（2016年）に有田焼発祥の地として創業400年目を迎えることから、この機会を有田焼産地再生の好機ととらえ、有田焼400年の歴史の検証とリブランディングを行い、将来ビジョンを検討し、有田焼を国内外へと情報発信する事業展開を行う。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐賀県有田焼創業400年事業実行委員会」の事業計画に沿って各種事業を展開した。（市場開拓、産業基盤整備、情報発信） ・有田町、伊万里市、武雄市、嬉野市の連携事業として、平成28年7月に4市町の各施設を利用できる有田焼創業400年記念「4市町共通レジャーチケット」を発売した。また、平成28年10月に旅行ガイドブック「ことりっぷ」を発行した。 ・平成28年10月に、有田町で「日本磁器誕生・有田焼創業400年記念式典・レセプション」を開催した。 ・平成28年1月（代官山 T-SITE GARDEN GALLERY）および11月（九州国立博物館）に、有田焼の魅力を紹介する企画 		

	<p>展「有田書店」を実施した。</p> <p>・平成28年4月～5月および10月～11月に伊万里有田焼伝統産業会館において、これまでの鍋島焼「献上の儀」を振り返る「鍋島献上の歩み展」を開催した。</p>
今後の方向性	事業完了。

(5) その他

ア 衛生センターの設置、運営

事業名	20. 衛生センター運営事業	達成度	A
取り組みの内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。		
実績	し尿等の適切な処理を行い、圏域の衛生的な生活環境を維持し、適正な運営を行った。また、衛生センターに隣接する浄化センターとの汚水共同処理事業について、伊万里市および有田町との連携を図り、段階的な協議・検討を行いながら、令和2年度からの本格稼働に向けて遅滞なく事業を進めた。		
今後の方向性	令和2年度から伊万里市浄化センターとの汚水共同処理事業の本格運転が開始される。これまで衛生センターで単独処理していた、し尿および浄化槽汚泥を隣接する浄化センターで一元的に処理していくこととなり、大幅な経費縮減につながる。		

イ 火葬場の設置、運営

事業名	21. 火葬場運営事業	達成度	A
取り組みの内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。		
実績	伊万里・有田地区衛生組合が運営する火葬場「やすらぎ斎苑」において、伊万里市および有田町、隣接地域からの遺体等の受け入れ及び火葬を行い、圏域の生活環境を維持した。		
今後の方向性	今後も圏域における衛生的な生活環境を維持するとともに火葬場「やすらぎ斎苑」の運営管理を図る。		

ウ 一般廃棄物処理施設の設置、運営

事業名	22. ごみ処理広域化推進事業	達成度	A
取り組みの内容	ごみ処理の広域化を推進し、将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合や関係市町が協力し、一般廃棄物処理施設の整備を推進する。		

実績	4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合において、平成28年1月より一般廃棄物処理施設の供用を開始した。 また、一般廃棄物処理施設の供用開始に伴い、安定的な運営、圏域の良好な生活環境を維持した。
今後の方向性	今後も施設の安定的な運営を図り、圏域の良好な生活環境の維持に努める。

エ 消防・救急体制の充実

事業名	23. 伊万里・有田消防組合支援事業	達成度	A
取り組みの内容	将来にわたり効果的な消防・救急体制を維持するため、伊万里・有田消防組合による円滑な消防活動を推進する。		
実績	・平成26年4月1日に伊万里・有田消防組合を発足以降、圏内住民へ消防広域化のスケールメリットを生かした消防サービスを提供できるように更なる消防力の充実、強化を目指した運営を行っている。		
今後の方向性	伊万里市と有田町が共同運営する一部事務組合として、圏内の消防力の充実、強化を図り、地域住民が安心して生活できる安全な環境の確立を目指していく。		

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域内の公共交通の維持・確保

事業名	24. 松浦鉄道支援事業	達成度	B
取り組みの内容	圏域内を縦貫する松浦鉄道の充実を図るため、鉄道の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整および支援を行う。		
実績	圏域内を縦貫する松浦鉄道の充実を図るため、鉄道の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整および支援を行った。		
今後の方向性	新たに承認された松浦鉄道支援計画に基づき、老朽施設等の整備に対して支援を行う。令和6年度以降の支援について、沿線自治体との協議を行う。		

事業名	25. バス運行支援事業	達成度	A
取り組みの内容	バス路線の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整とともに、バス事業者への支援を行う。		
実績	バス路線の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整とともに、バス事業者への支援を行った。		
今後の方向性	バス路線の維持、確保を図るため、運行経費の支援を行う。		

事業名	26. コミュニティバス運行事業	達成度	A
取り組みの内容	圏域内において、移動制約者の日常生活における移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を行う。		
実績	圏域内において、移動制約者の日常生活における移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を行った。		
今後の方向性	移動制約者の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を行う。		

(2) 道路等交通インフラの整備

ア 高規格幹線道路の整備

事業名	27. 西九州自動車道等建設促進事業	達成度	A
取り組みの内容	本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道の整備をはじめ、圏域内の幹線道路である国道の整備を促進する。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伊万里市及び有田町を含む、福岡県、佐賀県、長崎県の沿線 8 市 4 町で組織する西九州自動車道建設促進期成会において、西九州自動車道の早期整備を目的とした、国土交通省本省をはじめ九州地方整備局、各県国道事務所への提案活動を実施した。 ・平成 30 年 3 月の伊万里東府招 I C の供用開始により、唐津伊万里道路が全線開通した。 		
今後の方向性	本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮することができる西九州自動車道の早期整備に向けた関係機関との調整をはじめ、有田町と協力し提案活動を行う。		

事業名	28. セラミックロード建設促進事業	達成度	A
取り組みの内容	圏域内の幹線道路となるセラミックロードの整備を促進する。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起点側立花工区 (L=560m) が完成し供用を開始している。 ・ 有田側山谷牧工区 (L=1700m) の事業促進が図られている。 ・ 未整備区間の二里第1工区が平成30年度に新規事業化され測量・調査・設計に取り組まれている。 		
今後の方向性	着実な整備が図られているものの、国道202号の交通渋滞の解消や、伊万里市、有田町の中心部から新病院へ通じる道路としての役割は重要であるため、更なる事業進捗が図られるよう要望・提案活動を展開する。		

(3) 圏域内の交流促進

ア 圏域内住民の交流機会の充実

事業名	29. 観光情報提供事業	達成度	B
取り組みの内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、伊万里市観光協会やありた観光情報センターにおいて、圏域内の観光情報等の提供を行う。		
実績	観光協会による広域観光情報の提供を行った。		
今後の方向性	引き続き、圏域内外との交流や連携を促進するため、伊万里市観光協会やありた観光情報センターにおいて、圏域内の観光情報等の提供を行う。		

事業名	30. 観光情報発信事業	達成度	A
取り組みの内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、観光パンフレットや広報紙、ホームページなどを活用し圏域内の観光情報等を発信する。		
実績	伊万里市においては、有田陶器市の情報等の発信を行い、有田町においては、伊万里市のどっちゃん祭りや秋祭りの情報を発信した。		
今後の方向性	圏域内外との交流や連携を促進するため、観光パンフレットや広報紙、ホームページなどを活用し圏域内の観光情報等を発信する。		

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

ア 市町職員の人材育成

事業名	31. 職員研修事業	達成度	A
取り組みの内容	専門的な実務能力や政策形成能力を備えた職員の育成など圏域の自治体職員の資質向上を図るため、圏域共通の政策課題を解決するための研究など、伊万里市が実施する各種研修について、有田町職員が参加する機会を設ける。		
実績	H 2 7 接遇研修の開催有田町職員の参加 H 2 8 接遇研修の開催有田町職員の参加 H 2 9 接遇研修の開催有田町職員の参加 H 3 0 接遇研修の開催有田町職員の参加 H 3 1 接遇研修の開催有田町職員の参加		
今後の方向性	伊万里市が開催する接遇研修に有田町職員が参加する		

(2) 外部からの人材確保に係る政策分野

ア 圏域の振興のための人材確保

事業名	32. 観光分野などにおける アドバイザー受け入れ事業	達成度	B
取り組みの内容	窯業や農業等における技術力の強化や観光の分野における圏域の魅力の効果的な発信など専門的な知識を有するアドバイザー等の人材確保に向けた関係機関などとの調整やアドバイザー等の受け入れを行う。		
実績	平成27～30年度においては、観光アドバイザーを常に1～2名受け入れており、専門的知識に基づいた旅行商品の造成はもとより、福岡都市圏や関東圏の旅行会社等への積極的な営業活動により、本圏域への誘客促進の一翼を担った。		
今後の方向性	総務省「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し、専門的知識を有する観光アドバイザーを受け入れ、戦略性をもって本圏域への誘客促進及び物産振興・PRを図る。		

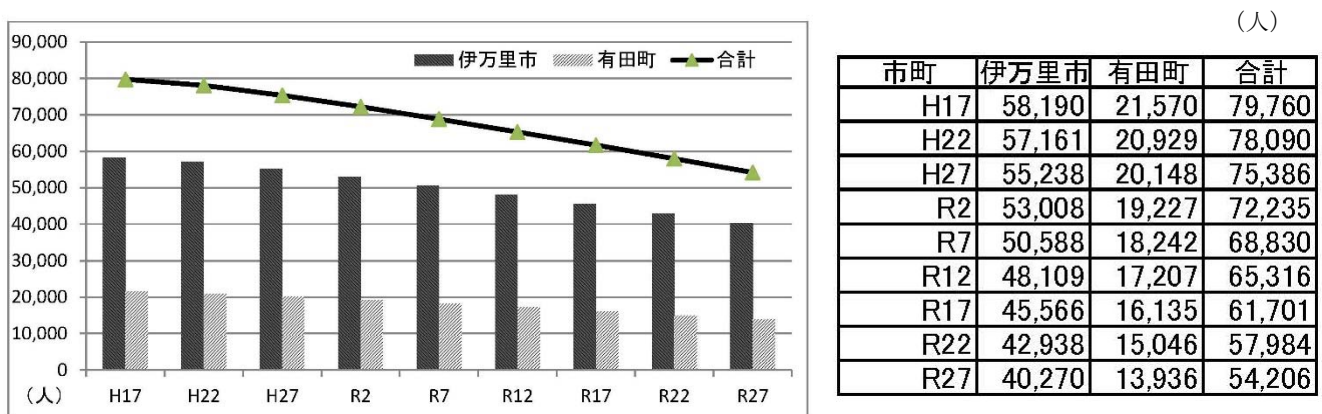
イ 県等との人材交流

事業名	33. 職員研修事業	達成度	A
取り組みの内容	圏域の振興を図るための調査・研究をはじめ、県等との人事交流に関する関係機関との調整とともに、職員の県等への派遣に取り組み、多様化、複雑化する行政課題の解決を図る。		

実 績	H 2 7 佐賀県市町村課へ職員 1 名を派遣 H 2 8 佐賀県市町村課へ職員 1 名を派遣 H 2 9 佐賀県企業立地課へ職員 1 名を派遣 H 3 0 佐賀県企業立地課へ職員 1 名を派遣 H 3 1 佐賀県企業立地課へ職員 1 名を派遣
今後の方向性	佐賀県市町村課や企業立地課に職員 1 名を 1 年間派遣し、多様化、複雑化する行政課題の解決を図るための専門的業務の研修を行い、圏域の振興につなげる。

IV 圏域の課題

全国的に人口減少が進む中において、本圏域の人口は平成22年（2010年）から27年（2015年）までの過去5年間で3.46%の減少となっていますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後は加速度的に人口減少が進行し、令和27年（2045年）には54,206人となり、30年間で21,180人（28.1%）が減少すると見込まれており、人口減少の抑制と定住の促進に向けた施策の展開が課題となっています。



出展：国立社会保障・人口問題研究所

1. 健康福祉における課題

本圏域は、平成26年に日本創生会議が発表した人口推計における20歳から30歳代の若年女性人口が5割以下にまで減少する、いわゆる消滅可能性都市には該当しないものの、老年人口の割合は依然として増加するとともに、死亡者数が出生者数を上回る人口減少社会へと既に移行しており、地域経済や社会など広範囲にわたる影響が懸念されます。

このような中、団塊の世代のすべてが後期高齢者に該当する「2025年問題」を見据え、誰もが健康的な日常生活を送ることができるよう、介護予防に重点を置いた取り組みとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害者が可能な限り地域の中で自立した生活を送るための環境づくりが求められています。

また、医療費や介護保険給付費が年々増加していることから、疾病の予防はもとより、早期発見と早期治療につなげるための取り組みが重要となっています。

2. 教育文化における課題

社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいとしての学習への欲求が増大するなど、多様化する圏域住民の学習需要への対応を図ることは、学習者の自己実現のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成など、社会全体にとっても有意義であることから、地域における生涯学習の充実に向けた環境整備が求められています。

また、日本における磁器の発祥地や古伊万里の積み出し港としての歴史や文化をはじめ、豊かな自然など、圏域固有の資源を圏域住民の財産として後世に引き継ぐと

ともに、住民の関心や愛着心を高め、地域の活性化へと結びつけていく必要があります。

3. 産業振興における課題

西九州自動車道の圏域内での開通を背景に、福岡都市圏との交流人口の拡大に向けた取り組みが求められています。

また、少子高齢化が一層進展する中で、地域産業の力を維持、向上させていくためには、優秀な人材の確保をはじめ、生産の基盤技術の強化と継承を図っていくことが重要となっています。

本圏域を代表する伝統産業である窯業については、海外からの安価な製品の流入をはじめ、和から洋へのライフスタイルの変化などから、販売額の減少が続いており、伝統工芸品としての差別化や販路拡大などへの取り組みが求められています。

農業については、国において締結されたTPP（環太平洋パートナーシップ協定）に伴う影響や、農協改革が進展する中、原材料費などの高騰に加え、農産物の価格低迷など、農業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、収益が確保できる堅実な農業経営の確立や担い手の育成とともに、消費者に信頼される安全な農産物の生産が求められています。

4. 都市基盤や生活環境における課題

安定的な産業の成長や快適な生活を支えるための都市基盤として、西九州自動車道をはじめとする高速交通ネットワークの形成や、圏域内の円滑な移動を確保する道路の整備とともに、高齢社会が進行する中で、公共交通機関のない地域への対応などが重要な課題となっています。

また、伊万里港においてはアジアに向けた国際物流拠点を目指した港湾施設の整備が求められるとともに、限りある水資源を安定的に確保し、農業用水や上水など、目的に応じ効率的に供給していくことが必要となっています。

さらに、平成23年に発生した東日本大震災以来、防災に対する住民の意識は高まっており、自然災害や原子力災害等から住民の生命や財産を守るため、消防・救急体制の強化が求められています。

5. 人材確保における課題

地方分権の推進に伴い、地方自治体における自己決定、自己責任の範囲が拡大する中、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するためには、多様化、複雑化する圏域住民のニーズを迅速かつ的確にとらえ、圏域において真に必要な施策を立案し、実行していくための政策形成能力を持つ人材の育成が求められています。

V 本圏域が目指すもの

国においては、地方創生の考えのもと、国全体の持続的発展に向けた地方の実行力が求められており、新しい地域間連携の形として、複数の自治体が一体となった人口増や産業振興などに取り組む定住自立圏のさらなる推進の方針が示されています。

このような中、美しい海や山に抱かれ、わが国を代表する陶磁文化発信の地としての歴史を共有してきた本圏域において、医療や福祉の充実、産業の振興など、人口増や定住のために必要な生活機能の強化をはじめ、公共交通機関や交通インフラ等の整備による結びつきやネットワークの強化、行政や観光分野における人材育成による圏域マネジメント能力の強化へ取り組むことにより、将来にわたり住民がいきいきと暮らすことができる豊かで自立した圏域の形成に努めます。

本圏域の将来の人口と高齢化率の目標は次のとおりです。

人口

	平成27年	令和2年 (第2次ビジョン目標)	令和7年 (目標)	令和27年 (目標)
伊万里市	55,238人	55,080	53,830	49,303
有田町	20,148人	19,616	19,035	16,518

高齢化率

	平成27年	令和2年 (第2次ビジョン目標)	令和7年 (目標)	令和27年 (目標)
伊万里市	28.6%	30.8%	32.0%	30.9%
有田町	31.5%	33.6%	34.9%	33.0%

1. 生活機能の強化に係る政策分野

救急医療をはじめとする地域医療の充実に努め、圏域住民の生涯を通じた健康づくりを推進するとともに、高齢者や障害者等の支援体制を構築し、圏域住民一人ひとりが住み慣れた圏域で支えあいながら、ともに暮らしていける地域福祉の充実に努めます。

また、図書館などの生涯学習の拠点を活用した学習機会の提供とともに、学校や家庭、地域が一体となった生涯学習環境の整備に努めます。

さらに、安全、安心な農産物の安定的な供給と収益性の確保に向けた農業生産基盤の強化とともに、技術の高度化や新分野進出への支援など地場産業の振興のほか、圏域の快適な生活空間を維持するため、廃棄物の減量化や適正な処理に努めます。

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

圏域住民の移動や交流を支える道路や、公共交通体系の整備を促進するとともに、個性豊かな郷土の歴史や地域文化等豊富な地域資源を生かした観光の振興など圏域内外との交流を促進します。

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

限られた人的資源を有効に活用し、新たな政策課題に柔軟に対応できる専門的な実務能力や政策形成能力を持つ人材を育成するとともに、専門的な知識を必要とする分野において、アドバイザーの招へいによる知識の修得を図ります。

VI 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンの期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。なお、年度毎に進行管理を行うとともに、必要に応じ、内容を変更します。

VII 具体的な取り組み

1. 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア 地域医療の充実

(ア) 取り組みの概要

- 本圏域においては、圏域住民が適切な医療サービスを受けることができる医療水準の確保をはじめ、疾病の予防から診断、治療、リハビリテーションまで切れ目のない医療サービスを確保するための医療機関相互の連携や、重篤な患者に対応できる医療体制の整備、医師や医療従事者の確保などが求められています。
- このため、圏域の住民が安心して医療を受けられるよう、伊万里有田共立病院をはじめ圏域内の医療機関等との連携を強化し、病診連携による質の高い医療サービスの提供を図ります。

【形成協定に規定する内容】

伊万里有田共立病院をはじめとする圏域内の医療機関との連携を強化し、機能分担を進め、地域医療の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	1. 伊万里有田共立病院運営支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	伊万里・有田地区医療福祉組合による伊万里有田共立病院の運営を支援する。					
効果	圏域の中核となる病院の運営を支援することにより、救急医療などこれまで本圏域で受けることができなかった医療サービスを提供することができるとともに、圏域内医療機関との連携強化により地域医療の充実を図ることができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	469,462	453,188	397,788	415,191	410,271	2,145,900
活用を想定する補助事業等	なし					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区医療福祉組合に圏域の中核となる伊万里有田共立病院を運営させるとともに、運営に必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里・有田地区医療福祉組合に圏域の中核となる伊万里有田共立病院を運営させるとともに、運営に必要な経費を負担する。
-----------	---

事業名	2. 休日・夜間急患医療センター管理運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	日曜日や祝日、夜間の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。					
効果	休日や夜間の急病に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	15,964	15,964	15,964	15,964	15,964	79,820
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。 有田町は、伊万里休日・夜間急患医療センターの運営に協力するとともに、当該事業について圏域住民へ周知する。 					

事業名	3. 在宅当番医制運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	休日（年間10日間）における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医による診療を行う。					
効果	休日（連休）における耳鼻科や眼科の急病に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	587	587	587	587	587	2,935
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医制を運営する。 有田町は、在宅当番医制の運営に協力するとともに、当該事業について圏域住民へ周知する。 					

事業名	4. 病院群輪番制病院運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスを受けられるよう、伊万里・有田地区医師会が行う輪番制による診療を支援する。					
効果	休日における重症救急患者に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	6,261	6,304	6,304	6,304	6,304	31,477
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区医師会が行う病院群輪番制の運営を支援するため、必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里・有田地区医師会が行う病院群輪番制の運営を支援するため、必要な経費を負担する。 					

事業名	5. 伊万里看護学校支援事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域における看護師等医療従事者を確保するため、卒業生の多くが圏域内医療機関に就業している伊万里・有田地区医師会立伊万里看護学校の運営を支援する。					
効果	圏域内医療機関に従事する看護師の安定的な確保とともに、圏域住民に対し適切な医療サービスを提供することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里看護学校の運営を支援するため、必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里看護学校の運営を支援するため、必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	1. 伊万里有田共立病院運営支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
紹介率		62.5%	65%
逆紹介率		78.4%	70%
救急医療実績数 (救急車搬送・ウォークイン)		3,286件	3,600件
事業名	2. 休日・夜間急患医療センター管理運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
受診者数		1,683人	2,000人
事業名	3. 在宅当番医制運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
受診者数		100人	100人
事業名	4. 病院群輪番制病院運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
受診者数		837人	800人
事業名	5. 伊万里看護学校支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
定員充足率		97.9%	100%

(2) 福祉

ア 介護分野における連携

(ア) 取り組みの概要

- ・ 介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、介護保険法に定める要介護等の認定については、審査判定業務を公平かつ効率的に行う必要があります。
- ・ このため、伊万里・有田地区介護認定審査会を設置、運営し、審査判定業務の効率性や公平性を確保します。

【形成協定に規定する内容】

介護保険法に定める要介護等の認定に係る審査判定業務の効率性や公平性を確保するため、介護認定審査を共同で実施する。

(イ) 具体的な事業

事業名	6. 介護認定審査会運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、要介護等の認定に係る認定審査業務を共同で行う。					
効果	認定審査業務における効率性や公平性の確保が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	28,073	28,116	28,116	28,116	28,116	140,537
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区介護認定審査会を設置、運営し、認定審査に関する事務を行う。 有田町は、伊万里・有田地区介護認定審査会の運営に協力するとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	6. 介護認定審査会運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
介護認定審査会の開催件数		48回	48回

イ 障害者の自立における連携

(ア) 取り組みの概要

- 障害者がその特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害者総合支援法に定める障害支援区分の認定については、審査判定業務を公平かつ効率的に行う必要があります。
- このため、伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会を設置、運営し、審査判定業務の効率性や公平性を確保します。

【形成協定に規定する内容】

障害者総合支援法に定める障害支援区分の認定に係る審査判定業務の効率性や公平性を確保するため、障害支援区分認定審査を共同で実施する。

(イ) 具体的な事業

事業名	7. 障害支援区分認定事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	障害者とその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害支援区分の認定に係る認定審査業務を共同で行う。					
効果	認定審査業務における効率性や公平性の確保が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	3,999	3,992	3,992	3,992	3,992	19,967
活用を想定する補助事業等						
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会を設置、運営し、認定審査に関する事務を行う。 有田町は、伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会の運営に協力するとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	7. 障害支援区分認定事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
障害支援区分審査判定 件数		177件	230件	

ウ 特別支援学校の留守家庭児童クラブにおける連携

(ア) 取り組みの概要

- ・ 昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援する必要があります。
- ・ このため、佐賀県立伊万里特別支援学校において、留守家庭児童クラブを設置、運営し、児童や生徒の健全育成と保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援します。

【形成協定に規定する内容】

佐賀県立伊万里特別支援学校において、昼間、仕事等により保護者がいない児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援するため、留守家庭児童クラブを設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	8. 佐賀県立伊万里特別支援学校における留守家庭児童クラブ運営事業	関係市町	伊万里市、有田町		
内容	昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の				

	児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援するため、伊万里特別支援学校において、留守家庭児童クラブを設置、運営する。					
効 果	児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援することができる。					
事 業 費 (千 円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	22,751	22,751	22,751	22,751	22,751	113,755
活用を想定する補助事業等	特別支援学校放課後児童健全育成事業費補助金					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、佐賀県立伊万里特別支援学校において留守家庭児童クラブを設置、運営する。 有田町は、佐賀県立伊万里特別支援学校の留守家庭児童クラブの運営への協力をはじめ、当該事業について圏域住民へ周知するとともに、留守家庭児童クラブの利用に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	8. 佐賀県立伊万里特別支援学校における留守家庭児童クラブ運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指 標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
留守家庭児童クラブの延べ利用児童数		3,665人	3,670人

エ 児童の療育支援

(ア) 取り組みの概要

- 心身の発達において支援を必要とする児童に対して、障害の種別や程度に応じた支援が求められています。
- このため、障害のある就学前児童の療育施設である伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園を設置、運営し、日常生活等に適応するための訓練や指導を行います。

【形成協定に規定する内容】

心身の発達において支援を必要とする児童に対し、日常生活等に適応するための訓練や指導を行うため、障害のある就学前児童の療育施設を設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	9. 障害児生活適応施設 (ひまわり園) 管理運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	障害者とその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、伊万里市子どもハートフルセンターひまわり園を設置、運営し、日常生活等に適応するための訓練や指導を行う。					
効果	障害のある就学前の児童が日常生活における基本的な動作や集団生活に対応する能力を身につけることができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	27,420	27,420	27,420	27,420	27,420	137,100
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里市子どもハートフルセンターひまわり園を設置、運営する。 有田町は、伊万里市子どもハートフルセンターひまわり園の運営への協力をはじめ、当該事業について圏域住民へ周知するとともに、ひまわり園の利用に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	9. 障害児生活適応施設 (ひまわり園) 管理運営事業		関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)		目標値 (R6)
ひまわり園の延べ利用 児童数		1,352人		1,355人

オ 障害者の生活支援

(ア) 取り組みの概要

- ・ 障害者とその障害の特性に応じ、安心して自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境の整備が求められています。
- ・ このため、障害者生活支援センターを設置、運営し、障害者への相談対応や支援などを行います。

【形成協定に規定する内容】

障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援するため、障害者生活支援センターを設置し、障害者への相談対応を行う。

(イ) 具体的な事業

事業名	10. 障害者生活支援センター管理運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	障害者とその障害の特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害者生活支援センターを設置、運営し、必要なサービスについての情報提供や相談対応、支援を行う。					
効果	障害者が住み慣れた圏域の中で自立して生活することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	20,805	20,813	20,813	20,813	20,813	104,057
活用を想定する補助事業等	地域生活支援事業費等補助金					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、障害者生活支援センターを設置、運営する。 有田町は、障害者生活支援センターの運営への協力をはじめ、当該事業について圏域住民へ周知するとともに、障害者数の比率等に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	10. 障害者生活支援センター管理運営事業		関係市町	伊万里市、有田町	
指標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
障害者等の相談件数			8,935件	13,870件	

(3) 教育・文化

ア 図書館の圏域内への開放

(ア) 取り組みの概要

- 自由時間の増大や高齢化が進展する中、多様化する学習ニーズに対応するためには、主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味や関心に応じた学習環境の整備が求められています。
- このため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館を圏域住民へ開放します。

【形成協定に規定する内容】

生涯学習の機会の拡大を図るため、伊万里市民図書館及び有田町図書館を圏域住民へ開放する。

(イ) 具体的な事業

事業名	11. 図書館運営事業		関係市町	伊万里市、有田町	
内容	主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味・関心に応じた学習環境を整備するため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館の				

	充実を図るとともに、圏域住民に開放する。					
効 果	図書サービスの充実による圏域住民への生涯学習機会の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	64,160	64,160	64,160	64,160	64,160	320,800
活用を想定する補助事業等						
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里市民図書館の資料の充実をはじめ、図書に関する調査や研究を行うとともに、図書館を有田町民へ開放する。 有田町は、有田町図書館の資料を充実するとともに、伊万里市民図書館との連携を強化する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	11. 図書館運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
指 標	現状値 (H30)	目標値 (R6)	
伊万里市民及び有田町民が相手市町の図書館で借りた冊数	18,906冊	20,000冊	
相手市町の図書館の本を取り寄せて貸し出した冊数	7冊	20点	

(4) 産業振興

ア 農林水産業における圏域ブランドの確立

(ア) 取り組みの概要

- 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。
- このため、伊万里牛をはじめ、伊万里梨など農林水産物における圏域ブランドの確立や販路拡大に努めます。

【形成協定に規定する内容】

伊万里牛をはじめ、伊万里梨など農林水産物における圏域ブランドの販路拡大に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	12. 伊万里牛振興会支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
内 容	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興を促進するため、伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動な		

	どを実施する。					
効 果	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興が期待できる。					
事 業 費 (千 円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動などを実施する。 有田町は、伊万里牛振興会の運営に協力するとともに、伊万里市と協議の上、必要な経費を負担する。 					

事 業 名	13. 圏域ブランド販売促進事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内 容	伊万里牛等のブランド力を最大限に活用し、販路拡大を図るため、伊万里牛等を活用したイベント等を行う。					
効 果	肥育牛における圏域ブランドの浸透と販路拡大が期待できる。					
事 業 費 (千 円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	1,703	1,703	1,703	1,703	1,703	8,515
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里牛等を活用したイベント等を実施する。 有田町は、伊万里市が実施する伊万里牛等を活用したイベント等の情報を圏域住民に周知する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事 業 名	12. 伊万里牛振興会支援事業	関係市町	伊万里市、有田町	
	指 標	現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	伊万里牛振興会主催の枝肉共励会における上物 (肉質等級5等級) 率	60.1%	65.0%	
事 業 名	13. 圏域ブランド販売促進事業	関係市町	伊万里市、有田町	
	指 標	現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	伊万里牛等をPRするイベントの開催回数 (年間)	3回	5回	

イ 農業の振興

(ア) 取り組みの概要

- 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の

圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。

- ・ このため、農業用水の確保による安定した農業経営の確立を目指し、農業用水と飲料水の貯水機能を併せ持つ古木場ダムの維持管理を行います。

【形成協定に規定する内容】

農業の振興を図るため、古木場ダムの維持管理を行う。

(イ) 具体的な事業

事業名	14. 古木場ダム管理事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	安定的に農業用水を確保するため、古木場ダムの適切な維持管理を行う。					
効果	農業用水の確保とともに、農業経営の安定化が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	17,728	17,728	17,728	17,728	17,728	88,640
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊万里市は、受益割合に応じ古木場ダムの維持管理に必要な経費を負担する。 ・ 有田町は、古木場ダムの適切な維持管理を行う。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	14. 古木場ダム管理事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
管理運営費		17,728千円	17,728千円

ウ 林業の振興

(ア) 取り組みの概要

- ・ 国産材需要の減退や木材価格の長期低迷による採算性の悪化などにより、森林所有者の施業意欲が低下していることから、効果的で安定的な林業の経営が求められています。
- ・ このため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援し、水源のかん養など圏域の豊かな自然環境の保全による土砂災害の防止等森林の適正な管理を促進します。

【形成協定に規定する内容】

圏域の豊かな自然環境を保全するため、森林の適正な管理を促進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	15. 伊万里西松浦森林組合支援事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	安定的な林業経営を確立し、圏域の豊かな自然環境を保全するため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援する。					
効果	水源のかん養等による豊かな自然環境の保全など、森林の適正な管理を促進することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	5,570	5,570	5,570	5,570	5,570	27,850
活用を想定する補助事業等	森林・林業再生基盤づくり交付金事業、森林を守る交付金事業、森林整備担い手育成事業					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里西松浦森林組合の活動を支援するため、必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里西松浦森林組合の活動を支援するため、必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	15. 伊万里西松浦森林組合支援事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
作業路開設延長		3,574 m	4,500 m	

エ 畜産の振興

(ア) 取り組みの概要

- 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。
- このため、安定的に畜産経営を行う環境の確立に向け、家畜の防疫環境の確保に努めます。

【形成協定に規定する内容】

安定した畜産経営を確立するため、家畜の防疫環境の確保に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	16. 畜産総務事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	安定的な畜産経営を行うため、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援し、家畜の防疫環境の確保に努める。					

効 果	安定的な畜産経営を行うことが期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	869	869	869	869	869	4,345
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援するため、必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援するため、必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	16. 畜産総務事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	市長賞表彰回数	6回	6回

オ 窯業の振興

(ア) 取り組みの概要

- 本圏域を代表する産業である窯業については、長引く消費の低迷や低価格の輸入品の増大などの影響を受け、厳しい状況にあることから、持続的な発展を図るため、海外を含めた新たな販路の拡大が求められています。
- このため、窯業の担い手の育成とともに、ホームページ等を活用した圏域内外への情報発信を行います。

【形成協定に規定する内容】

国内にとどまらず海外でも有名な有田焼や伊万里焼の販路拡大に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	17. 伊万里・有田焼振興事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内 容	地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発を支援するとともに、焼き物の販路拡大に向けた情報提供等を行う。					
効 果	圏域の地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発とともに、新たな販路の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	6,245	6,245	6,245	6,245	6,245	31,225
活用を想定する補助事業等	さが伝統産業等創造支援事業補助金					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、窯業の担い手の育成や新商品の開発をはじめ、販路拡大に向けた情報発信等を行うとともに、必要な経費を負担する。 有田町は、窯業の担い手の育成や新商品の開発をはじめ、販路拡大に向けた情報発信等を行うとともに、必要な経費を負担する。
-----------	---

事業名	18. 伝統産業会館運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	伊万里・有田焼伝統産業会館を設置、運営し、伊万里・有田焼の伝統的な技法の継承及び後継者の確保や育成を図る。					
効果	圏域の地域産業である窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	7,800	7,712	7,712	7,800	7,712	38,736
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田焼伝統産業会館を設置、運営し、窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成を行う。 有田町は、伊万里・有田焼伝統産業会館の運営や、窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成に協力する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	17. 伊万里・有田焼振興事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
展示会等への出展回数		5箇所	6箇所	
事業名	18. 伝統産業会館運営事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
伊万里・有田焼伝統産業会館の来館者数		57,456人	60,000人	

(5) その他

ア 衛生センターの設置、運営

(ア) 取り組みの概要

- 快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、し尿や浄化槽汚泥を適正に処理することが求められています。
- このため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営し、衛生的な生活環境を確保します。

【形成協定に規定する内容】

圏域におけるし尿を適正に処理するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	19. 衛生センター運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。					
効果	圏域内のし尿や浄化槽汚泥を適正に処理することにより、衛生的な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	247,381	249,795	254,490	257,553	281,278	1,290,497
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区衛生組合の主体として、同組合に衛生センターを運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里・有田地区衛生組合の構成員として、同組合に衛生センターを運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	19. 衛生センター運営事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
し尿等処理施設の効率的な運営 (事業費：有田町を含む)		247,381千円	281,278千円	

イ 火葬場の設置、運営

(ア) 取り組みの概要

- 快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、火葬場を設置、運営します。

【形成協定に規定する内容】

伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	20. 火葬場運営事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。					
効果	圏域の衛生的な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	41,095	41,095	41,095	41,095	41,095	205,475
活用を想定	なし					

する補助事業等	
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田地区衛生組合の主体として、同組合に火葬場やすらぎ斎苑を運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里・有田地区衛生組合の構成員として、同組合に火葬場やすらぎ斎苑を運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	20. 火葬場運営事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	火葬場の効率的な運営 (事業費: 有田町を含む)	121,531千円	41,095千円

ウ 一般廃棄物処理施設の設置、運営

(ア) 取り組みの概要

- 将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するためには、大量消費や大量廃棄型の生活の見直しによる、ごみの減量化と廃棄物の適正な処理が求められています。
- このため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置・運営します。

【形成協定に規定する内容】

圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置・運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	21. ごみ処理広域化推進事業	関係市町	伊万里市、有田町他			
内容	ごみ処理の広域化を推進し、将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置・運営する。					
効果	廃棄物を適正に処理することにより、圏域の良好な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	962,202	993,600	957,000	997,700	963,400	4,873,902
活用を想定する補助事業等	循環型社会形成推進交付金					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、佐賀県西部広域環境組合並びに有田町と協力し、同組合に一般廃棄物処理施設を伊万里市内において運営させるとともに、運営に必要な経費を負担する。 有田町は、佐賀県西部広域環境組合並びに伊万里市と協力し、同組合に一般廃棄物処理施設を伊万里市内において運営させるとともに、運営に必要な経費を負担する。
-----------	--

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	21. ごみ処理広域化推進事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	ごみの処理量 (有田町を含む)	19,814トン	18,297トン

エ 消防・救急体制の充実

(ア) 取り組みの概要

- 本圏域においては、玄海原子力発電所から概ね半径30km以内のUPZ（緊急時防護措置準備区域）に域内の大部分が含まれることから、火災や自然災害はもとより、原子力災害も視野に入れた防災体制の充実が求められています。
- 圏域内においてより効果的な消防・救急体制を整備するため、平成26年4月に伊万里・有田消防本部が設立されたところであり、今後も火災や災害等から住民の生命、財産を守るため、伊万里・有田消防本部による消防・救急活動を支援し、災害の発生に備えます。

【形成協定に規定する内容】

伊万里・有田消防組合による伊万里・有田消防本部の設置、運営を支援し、消防・救急体制の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	22. 伊万里・有田消防組合支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	将来にわたり効果的な消防・救急体制を維持するため、伊万里・有田消防組合による円滑な消防活動を推進する。					
効果	各種災害の発生に備えることにより、圏域の住民の安全で安心な生活を確保することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	1,883,668	1,353,226	1,381,538	1,381,538	1,381,538	7,381,508
活用を想定する補助事業等	なし					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里・有田消防組合が行う消防事業を支援するため、必要な経費を負担する。 有田町は、伊万里・有田消防組合が行う消防事業を支援するため、必要な経費を負担する。
-----------	---

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	22. 伊万里・有田消防組合支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	火災発生件数	37件	23件
	救急自動車現場到着平均所要時間	8.1分	8.1分

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域内の公共交通の維持・確保

(ア) 取り組みの概要

- 鉄道や路線バスについては、通学や買い物、通院など圏域住民の日常生活に欠かせない公共交通機関として重要な役割を果たしていますが、利用者数の減少とともに採算性の低下が進み、既存路線の維持、確保が困難となりつつある中で、今後さらに高齢社会の進展による移動制約者の増加が見込まれることから、地域における移動手段を維持、確保することが求められています。
- このため、関係機関等と連携して利用者の立場に立った運行改善による利便性の向上を図り、地域における公共交通の維持・確保に努めます。

【形成協定に規定する内容】

圏域内を運行する乗合バス事業者等へ支援を行うなど、公共交通の維持、確保を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	23. 松浦鉄道支援事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域内を結ぶ松浦鉄道の維持に向け、鉄道の利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整および支援を行う。					
効果	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	25,157	23,292	24,645	23,919	23,919	120,932
活用を想定	なし					

する補助事業等	
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、松浦鉄道を維持するための調査・研究をはじめ、関係自治体等との調整を行うとともに、必要な経費を負担する。 有田町は、松浦鉄道を維持するための調査・研究をはじめ、関係自治体等との調整を行うとともに、必要な経費を負担する。

事業名	24. バス運行支援事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	バス路線の維持に向けた利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関・団体との調整とともに、バス事業者への支援を行う。					
効果	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	2年度 93,918	3年度 109,523	4年度 134,436	2年度 93,918	3年度 109,523	4年度 134,436
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、圏域内のバス路線を維持するための利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関等との調整を行うとともに、バス事業者への支援を行う。 有田町は、バス路線を維持するための調査・研究や関係機関等との調整を行うとともに、バス事業者への支援を行う。 					

事業名	25. コミュニティバス運行事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域内において、移動制約者の日常生活における移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を行う。					
効果	子どもや高齢者などの移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	2年度 48,972	3年度 52,600	4年度 52,600	5年度 52,600	6年度 52,600	計 259,372
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、コミュニティバスを運行するとともに、有田町が運行するコミュニティバスについて、圏域住民に周知する。 有田町は、コミュニティバスを運行するとともに、伊万里市が運行するコミュニティバスについて、圏域住民に周知する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	23. 松浦鉄道支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
伊万里駅・有田駅乗降者数		620,028人	620,000人
事業名	24. バス運行支援事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
路線バス等利用者数		184,580人	184,000人
事業名	25. コミュニティバス運行事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
コミュニティバス利用者数		90,061人	90,000人

(2) 道路等交通インフラの整備

ア 高規格幹線道路等の整備

(ア) 取り組みの概要

- ・ 圏域内の産業や経済の発展はもとより、圏域内外との交流や連携を促進するため、本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道や圏域内の幹線道路となる県道伊万里有田線（セラミックロード）などの整備を促進する必要があります。
- ・ このため、国や県等関係機関への提案活動を行うなど、整備促進を図ります。

【形成協定に規定する内容】

本圏域と福岡都市圏との時間距離を短縮する西九州自動車道や圏域内の幹線道路となる県道伊万里有田線（セラミックロード）の整備を促進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	26. 西九州自動車道等建設促進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道の整備を促進する。					
効果	福岡都市圏との時間距離を短縮する西九州自動車道を整備することにより、圏域内外との交流や連携の促進が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	786	786	786	786	786	3,930
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	・ 伊万里市は、関係機関との調整をはじめ、西九州自動車道の整備に関する提案活動を行うとともに、必要な経費を負担する。					

	・ 有田町は、西九州自動車道の整備に関する提案活動に協力するとともに、伊万里市と協議の上、必要な経費を負担する。
--	--

事業名	27. セラミックロード建設促進事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域内の幹線道路となるセラミックロードの整備を促進する。					
効果	セラミックロードを整備することにより、圏域内の交流や連携を活発にすることができる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、関係機関との調整をはじめ、セラミックロードの整備に関する提案活動を行うとともに、セラミックロードの整備促進に必要な経費を負担する。 有田町は、セラミックロードの整備に関する提案活動に協力するとともに、セラミックロードの整備促進に必要な経費を負担する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	26. 西九州自動車道等建設促進事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
伊万里道路事業進捗率		31%	50%	
伊万里松浦道路事業進捗率 (長崎県区間含む)		60%	80%	
事業名	27. セラミックロード建設促進事業	関係市町	伊万里市、有田町	
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)	
二里工区の早期工事着手のため要望活動・周知活動		0回	2回	

(3) 圏域内の交流促進

ア 圏域内住民の交流機会の充実

(ア) 取り組みの概要

- 圏域住民の相互交流や連携を促進するため、伊万里湾や棚田など互いの恵まれた地域資源に関する情報を共有することが求められています。
- このため、圏域内の相互交流や連携に向け、観光パンフレットや広報紙、ホーム

ページの活用によるイベント情報等の相互提供を行います。

【形成協定に規定する内容】

イベント情報等を相互に共有することにより、圏域住民の交流機会の拡大を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	28. 観光情報提供事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、伊万里市観光協会や有田観光協会において、圏域内の観光情報等の提供を行う。					
効果	圏域で連携して観光情報等を提供することにより、圏域への交流人口の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	20,806	20,806	20,806	20,806	20,806	104,030
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、伊万里市観光協会の運営を支援するとともに、観光協会において有田町の観光情報等を提供する。 有田町は、有田観光協会の運営を支援するとともに、観光協会において伊万里市の観光情報等を提供する。 					

事業名	29. 観光情報発信事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、観光パンフレットや広報紙、ホームページなどを活用し圏域内の観光情報等を発信する。					
効果	圏域で連携して観光情報等を発信することにより、圏域への交流人口の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	9,592	9,592	9,592	9,592	9,592	47,960
活用を想定する補助事業等	なし					
関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、有田町の観光情報等を入手するとともに、観光パンフレットや広報紙、ホームページ等において、市の情報とあわせ有田町の情報を発信する。 有田町は、伊万里市の観光情報等を入手するとともに、観光パンフレットや広報紙、ホームページ等において、町の情報とあわせ伊万里市の情報を発信する。 					

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	28. 観光情報提供事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	両市町で連携して情報を提供するイベントの件数	2件	2件
事業名	29. 観光情報発信事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	両市町で連携して広報紙等へ掲載するイベントの件数	2件	2件

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

ア 市町職員の人材育成

(ア) 取り組みの概要

- ・ 限られた経営資源を有効に活用し、多様化、複雑化する行政課題に柔軟に対応できる人材を育成し、魅力ある圏域づくりを進めるためには、専門的な実務能力や政策経営能力を備えた職員を育成するなど圏域の自治体職員の資質向上を図り、マネジメント能力を高める必要があります。
- ・ このため、圏域をけん引する自治体職員を育成するための各種研修を合同で行います。

【形成協定に規定する内容】

職員の資質向上を図り、圏域をけん引する人材を育成するため、合同による研修等を行う。

(イ) 具体的な事業

事業名	30. 職員研修事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	専門的な実務能力や政策形成能力を備えた職員の育成など圏域の自治体職員の資質向上を図るため、圏域共通の政策課題を解決するための研究など、伊万里市が実施する各種研修について、有田町職員が参加する機会を設ける。					
効果	職員の資質と能力の向上による圏域をけん引する人材の育成が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助事業等	なし					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、職員研修や政策課題の研究を実施するとともに、有田町の職員が当該研修等に参加する機会を提供する。 有田町は、必要に応じ、伊万里市が実施する職員研修や政策課題の研究等に職員を参加させる。
-----------	--

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	30. 職員研修事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	研修会参加人数	25人	40人

(2) 外部からの人材確保

ア 圏域の振興のための人材確保

(ア) 取り組みの概要

- 圏域の魅力のより効果的な発信など、圏域の振興を図る上においては職員研修だけでは身につけることができない専門的な知識の修得が求められています。
- このため、観光分野などの業務において専門的な知識を持ったアドバイザーを招へいし、知識の修得を図ります。

【形成協定に規定する内容】

圏域外からの人材を確保し、観光分野などの業務における専門的な知識の修得を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	31. 観光分野などにおけるアドバイザー受け入れ事業			関係市町	伊万里市、有田町	
内容	窯業や農業等における技術力の強化や観光の分野における圏域の魅力の効果的な発信など専門的な知識を有するアドバイザー等の人材確保に向けた関係機関などとの調整やアドバイザー等の受け入れを行う。					
効果	研修だけでは身につけることができないデザイン力や技術力の強化など専門的な知識の修得による圏域の課題解決が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
活用を想定する補助事業等	なし					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、観光分野におけるアドバイザー等の人材確保に向け、関連機関などと調整するとともに、アドバイザー等を受け入れる。 有田町は、観光分野をはじめ、窯業や農業などにおけるアドバイザー等の人材確保に向け、関係機関などと調整するとともに、アドバイザー等を受け入れる。
-----------	---

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	31. 観光分野などにおけるアドバイザー受け入れ事業	関係市町	伊万里市、有田町
	指標	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	外部専門家と連携した旅行会社等への営業訪問回数	7回	10回

イ 県等との人材交流

(ア) 取り組みの概要

- 多様化、複雑化する行政課題を解決し、圏域の振興を図るためには、圏域のみならず広域的な課題の解決を図る必要があります。
- このため、県などとの人事交流を行い、圏域を含めた広域的な課題の解決を図ります。

【形成協定に規定する内容】

県等との人事交流を行い、圏域の課題解決を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	32. 職員研修事業	関係市町	伊万里市、有田町			
内容	圏域の振興を図るための調査・研究をはじめ、県等との人事交流に関する関係機関との調整とともに、職員の県等への派遣に取り組み、多様化、複雑化する行政課題の解決を図る。					
効果	広域的な観点からの圏域の課題解決が期待できる。					
事業費 (千円)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計
	161	161	161	161	161	805
活用を想定する補助事業等	なし					

関係市町の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 伊万里市は、広域的な課題についての調査・研究をはじめ、関係機関との調整を行うとともに、県等へ職員を派遣する。 有田町は、広域的な課題の調査・研究や関係機関との調整などに協力するとともに、県等へ職員を派遣する。
-----------	---

(ウ) 重要業績評価指標 (KPI)

事業名	32. 職員研修事業	関係市町	伊万里市、有田町
指標		現状値 (H30)	目標値 (R6)
職員派遣人数	2人		2人